



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年12月24日
文責：校長 江上 知男



1年と6年の縦割り掃除

とても充実した2学期でした！

12月24日(金)に、2学期終業式を実施しました。今年の2学期は、新型コロナにおける「まん延防止等重点措置」のまただ中にスタートしました。しかし、10月以降は感染状況も徐々に落ち着き、運動会・集団宿泊教室・修学旅行・見学旅行・各種授業研究会・学習発表会…と実施することができました。子どもたちにとって、様々な経験を積むことができた、とても充実した2学期になったと思います。

ところで、2学期の始業式に子どもたちに話した「2学期の目標」は、次の内容でした。

自分で考えて、相手のことを考えて、「しっかり行動」すること

子どもたちの成長に関して、本日担任から配付させていただいた通知表の「所見(担任のコメント)」をじっくりお読みいただき、親子でも2学期を振り返っていただければと思います。そして、「今後どうする」という目標を子ども自身が決めることができるよう、サポートいただければありがたいです。以下は、各学年から集めた、通知表所見(担任コメント)の抜粋です。

- ◆ 友達のことを考えて優しい行動がとれ、委員会でも、自分だけでなく友達の進み具合を気にしながら作業しています。
- ◆ 休んでいた友達に気軽に声をかけをする様子から、友達の心の支えになっていることがわかります。
- ◆ 失敗した人に「大丈夫、そんな時もありますよ」と声をかける姿があり、心の優しさを感じました。
- ◆ 互いに注意し合ったり切磋琢磨したりできる友達関係ができおり、素敵だと思います。
- ◆ 友達が困っていると必ず声をかけたり、もめ事があれば仲裁に入り話を聞いて解決したりする姿は立派でした。
- ◆ 友達や周りの様子によく気がつき、「こうしたほうがもっと良くなる」というアイデアが出せます。
- ◆ いつもクラスのことを考えて黙って行動し、給食台の片付けの手伝いを毎日のようにしました。



募金の贈呈

4,167円 集まりました！

先月に本校児童会が取り組んだ「赤い羽根共同募金」は、子どもたちの善意により、4,167円が集まりました。12月16日(木)に、町社会福祉協議会から来校いただき、運営委員会の子どもたちから贈呈しました。町社協からは、「みなさんの善意が詰まった貴重なお金を大切にに使わせていただきます」という言葉をいただき、子どもたちは満足そうでした。

赤い羽根募金は全国の人が取り組むもので、金額の規模も大きければ、その助成内容も多岐に渡っています。「共助」という社会の仕組みを学ぶのに適した題材と思いますが、いかがですか。

登校班長会・班会を開催しました！

12月20日(月)に、児童会が登校班長会を開催しました。児童会の調べでは、約70%の班がそろって登校できていることがわかりました。子どもたちは「登校班がうまいく秘密」「班長さんの悩み事」などを主体的に出し合っていました。22日には地区ごとの登校班会で集合時刻等の確認をしていました。

登校班は、子どもたちの朝の家庭生活と直結しています。どうか、スムーズに登校できますようご協力をお願いします。



発言する班長

保護者の皆さま、地域の皆さま、どうか良いお年をお迎えください！